



幼稚園も

保護者・地域の願いは

自宅の近くに  
預けたい!

保育所も



幼稚園の有効活用を

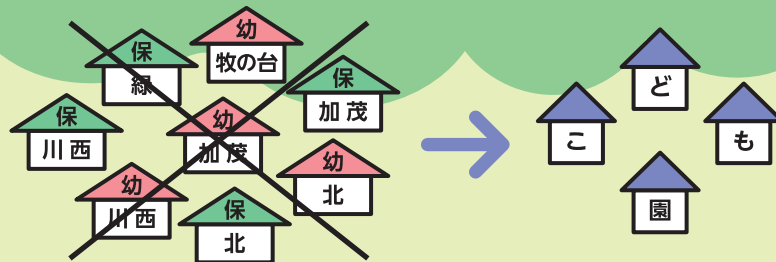
3歳児保育  
給食実施  
預かり保育

市は、耐震補強も必要がない市立牧の台幼稚園(Is値0.79)を解体、6億7,500万円かけて保育所と幼稚園を合体、認定こども園を建設中(来春開設)。

こども園になることで、今まで「月・水2時半、木3時まで」だった教育・保育時間が「月～金1時半」と短くなることに保護者から不満の声、給食費の負担がいくらになるか明らかにならず、延長保育料が必要になることへの不安の声も聴こえます。

保護者の願いは「自宅の近く」「3歳児保育」。定員割れが大きい市立幼稚園の中で、唯一3歳児保育実施中の加茂幼稚園では、3歳児・2クラスとも定員いっぱい。加茂小学校区のごども46.7%が通っています。

少子化に歯止め、子育てを応援するためにも、幼稚園を廃園・解体、こども園化ではなく、子育て拠点としての活用を幅広く行うことが必要です。



問題だらけの

“こども園”で大丈夫?

目的・機能、保育・教育日数や生活時間が全く違う保育所と幼稚園を合体するこども園化は、どちらの良さも壊します。

市立こども園では、今まで年齢別クラスで生活していたこども達が「3・4・5歳児全員が一部屋で昼寝」「昼寝以降は異年齢・グループ保育と生活する場所や担当者がコロコロ変わります」。このことだけでも保育所で積み上げてきた良さがなくなります。

また、市立松風幼稚園を廃園、代わりに建設された民間こども園では、保育時間が短くなるだけでなく、同じ所得層でも民間になることで保育料が高くなります。地域の避難場所がなくなるという問題も含まれます。

全国的に定員割れが問題になっている「こども園化」をやめて保育所・幼稚園それぞれ子育て拠点として、拡充を求めています。

待機児童が  
増えているのに…

保育所  
つぶさないで!

待機児童は4月39名、7月87名。申し込んだ翌年に入所できないこどもも出てきています。こども数を少なく、保育の量を小さく見込んだ「子ども・子育て計画」実施、幼稚園・保育所を統廃合する認定こども園化の計画を押し進めていることが原因です。

厚生労働省のデータを見ても「保育所入所割合はこどもの約40%」。まだまだ市の保育所定員が足りないことは明らかなのに、市北部・畦野駅前の便利な緑保育所を廃園するなど順次保育所を壊す計画です。

近隣市より少子化が進み、市外の幼稚園・保育所に通っているこどもの割合が多い川西市(北陵小学校区は34.1%)は、既存の保育所を廃園にせず、必要な耐震化、認可園建設を実施すべきです。

請願者の趣旨説明スタート! 6月議会・請願

「共謀罪」は廃案に!

請願結果	「共謀罪法案(組織的犯罪処罰法改正案)の廃案を求める意見書」の採択を求める請願書		自治市民クラブ		維新の会		公明党	
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対

議員名	所属	賛成	反対
北上 哲仁	川西まほろば会	○	
宮坂満貴子	川西まほろば会	○	
福西 勝	川西まほろば会	○	
上田 弘文	維新の会	×	
坂口 美佳	維新の会	×	
大矢根秀明	公明党	×	
鈴木 光義	公明党	×	
大崎 淳正	公明党	×	
平岡 譲	公明党	×	
江見 輝男	無所属	×	
久保 義孝	議長		○
秋田 修一			×
加藤 仁哉			×
西山 博大			×
森本 猛史			×
小山 敏明		○	
多久和桂子		○	
斯波 康晴		×	
米澤 拓哉		×	
吉富 幸夫		×	

(敬称略) 賛成:○ 反対:×

議会改革の一環として協議、全議員合意で今議会から請願者の思いを自ら発言(5分程度)できる制度に変更。日本共産党議員団として要求してきたことです。その第1号が「共謀罪」、2号が「最低賃金」でした。

今すぐ「最低賃金1000円」に引き上げを

賛成 日本共産党 住田 由之輔 黒田 みち 北野 紀子  
自治市民クラブ 北上 哲仁 宮坂 満貴子 福西 勝

「最低賃金の改善と中小企業の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

最低生計費調査で、男性25歳単身者で月に必要な生活費は23万円。その実現には時給1,500円が必要。年収200万円以下の労働者が全体の4分の1、300万円以下が55%、非正規就労が4割の現状では、普通の生活も困難。大手企業の内部留保は393兆円。政治主導で蓄えの一部を中小企業・労働者支援することで解決を図ることができます。

みんなで考えよう!

川西の  
まちづくり

憲法を市政にいかす

日本共産党 川西市議員団

「住み慣れたまちに安心して最後まで住み続けたい」、市民みんなの願いです。

高齢化が進む川西市だからこそ、通院や買い物等、日常的な外出に支障をきたさないまちづくりの視点や支援が必要です。また、近くに保育所や幼稚園、学校があること、中学校給食(自校調理方式)早期実現が子育て世代の強い要望です。

ところが市は、市立川西病院を北部地域からなくす計画、壊す必要のない幼稚園や保育所を廃園、幼保連携型認定こども園計画に突き進む。高齢者おでかけ促進事業(交通費補助)を廃止するなど…市民の思いや願いに逆行しています。

まちづくりの主人公は、そこに住む市民。日本共産党議員団は、市民の願いが実現するよう、引き続きみなさんと一緒に取り組みます。